



クラブテーマ 「一人ひとりが輝こう」  
出会いと絆を大切に



会長：北 健司 例会日：金曜日 12:30～13:30  
副会長：加藤久仁明 例会場：ホテルプラザ勝川  
副会長：伊藤 一裕 事務局：春日井市鳥居松町 5-45  
幹事：青山 博徳 TEL:(0568)81-8498 FAX:(0568)82-0265  
会報委員長：朽本 正樹 E-mail : ksgj-rc@gaea.ocn.ne.jp

本日のプログラム

・点 鐘	司会	会場委員会
・国歌	会長	北 健司君
・今月の歌	「君が代」	
・ビジター紹介	「我等の生業」	
	会長	北 健司君
	小牧RC	江崎 柳節君
・食事・歓談		
・委員会報告		
・米山奨学金授与		
・会長挨拶	会長	北 健司君
・卓話	小牧RC	江崎 柳節君
・幹事報告	幹事	青山 博徳君
・点 鐘	会長	北 健司君

先週の記録

会長挨拶 会長 北 健司君

「職業奉仕」

皆さんこんにちは。今日も例会への出席、ありがとうございます。先週は「入りて学び、出でて奉仕せよ」の「入りて学び」についてお話しさせていただきましたが、本日は「出でて奉仕せよ」について少しお話をさせていただきます。

ロータリーは個人奉仕が原則であります。クラブ（団体）による奉仕活動は会員に一つの奉仕の一例を示すためのものであります。団体での奉仕活動は巷の奉仕団体と同じ次元の奉仕活動であります。個人での奉仕活動で最も重要なのが職業奉仕です。職業奉仕はロータリアンそれぞれが、高度な知識や技術をもって、本職すなわち専門職種での活動によって社会に貢献するいわゆるプロフェッショナルの活動であり、当然報酬を伴います。他方、団体で行う奉仕はいわばアマチュアのボランティア活動と言わざるを得ません。団体で行う一つの奉仕活動よりも、会員がそれぞれの専門領域において心血を注ぎ、昼夜を問わず打込むこの職業奉仕に勝るものはないのであります。職業奉仕とはロータリー独自

基本教育と識学向上月間／ロータリーの友月間

例会予定	9月13日(金)	9月20日(金)	9月27日(金)	10月4日(金)
	祝福	ガバナー公式訪問	休会	第4回理事会 11:15～
	卓話 新美 治男君	(3RC 合同例会)	(定款8-1)	卓話 清水 勲君
	水上 耕一君			米山奨学生 ゲン・クイン・フォン様

<コラム>

2019年9月6日(金)2417回(9月第1例会)

のもので、他の奉仕団体とまったく異なる奉仕哲学なのであります。

「決議 23-34」における「超私の奉仕」とはロータリーとは利己的な欲望と、他人の為に奉仕したいという感情との間に存在する矛盾を和らげようとする人生哲学であります。標語としてアーサー・シェルドンが1911年に発表した、「経営の科学とは奉仕の科学である。もっともよく奉仕するものが最も多く報いられる」があります。ロータリーの綱領第2項に「事業及び専門職務の道徳的水準を高めること。あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深める事。そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること。」とあります。ロータリアンが毎日従事している自分の職業の倫理観を高めることがもっとも大切であると思います。またロータリアンの行動指針としての「四つのテスト」があります。会員一人ひとりが自らの行動指針として大切にしたいものであります。

最近の規程審議会ではこの職業奉仕が社会奉仕の中に埋没されかねない決議がされたように伝わっていますがとんでもないことだと思います。日本のロータリーにとって「職業奉仕」は最も重要なテーマであることをあらためてお伝えし、本日の会長挨拶とさせていただきます。ご清聴ありがとうございます。

幹事報告 幹事 青山 博徳君

★8月20日金曜のガバナー公式訪問は当クラブがホストとなり3RC合同例会となります。出欠確認表を回しますので、ご協力をお願いします。

★10月12日(土)13日(日)久屋公園でのWFFの協賛チケットをお一人様2枚購入させて頂きました。両日13時半から東尾張分区ブース前にて記念写真を撮影致します多数ご参加願います。

★今年度も「マイロータリーの登録率アップ」に取り組んでおります。

登録手続きについてご不明な点は広報 IT 委員会にお気軽にお問い合わせください。

西尾 隆史君 西村 輝幸君 野浪 正毅君  
 早川 八郎君 速水 敬志君 古屋 義夫君  
 松尾 隆徳君 屋嘉比良夫君 山田 治君  
 ○ご協力ありがとうございます。

ニコボックス委員会

◎例会変更のお知らせ

尾 張 旭 R C	9月13日(金)→9月11日(水) ガバナー公式訪問の為
名古屋城北 R C	9月17日(火)→9月20日(金) ガバナー公式訪問の為
小 牧 R C	9月18日(水) 持ち出し例会の為

◎例会休会のお知らせ

名古屋空港RC 9月16日(月)休会  
 岩倉RC 9月17日(火)休会  
 名古屋千種RC 9月17日(火)休会  
 犬山RC 9月17日(火)休会  
 愛知長久手RC 9月17日(火)休会  
 瀬戸北RC 9月17日(火)休会  
 名古屋丸の内RC 9月19日(木)休会  
 江南RC 9月19日(木)休会

出席報告 委員長 藤川 誠二君

会員 53名	欠席 14名	出席率 73.6%
先々週の修正出席	欠席 4名	出席率 92.4%

講話 東尾張分区ガバナー補佐 山田 直樹君

皆様こんにちは。今年度の東尾張分区ガバナー補佐を務めます山田直樹と申します。宜しくお願ひ致します。今年度のマローニ RI 会長が掲げられたテーマは「ロータリーは世界をつなぐ」です。現在のロータリーに大きな危機感を持たれていて思い切った改革を実行して10年後～20年後のロータリーを万全なものにしたいという考えをお持ちです。新しい戦略計画を各クラブで立ち上げてクラブを中心にしてより活性化された重点分野を打ち出して活動することを求められています。

(1) ロータリーをクラブで成長させること＝会員基盤を成長させること＝根本から変える時がきている。新しい会員モデルをつくりロータリー入会への新しい道を開くことが重要＝効果的な構造をクラブが考えることが必要です。

(2) 家族の絆をロータリー活動の中で大事にする＝ロータリー活動と家族との時間が競合しないようにお互いに補完しあう文化を作っていくことが必要＝地域社会に貢献したいという若い職業人の現実に目を向けありのままにむかひいれるようにすることが必要

(3) リーダーシップの文化を変え始める＝忙しく仕事をしているロータリアンもリーダーになれるようにするための道をひらくことが必要

(4) ロータリーと国連との関係＝充実したものにする＝共有しているものが多い＝ロータリーは他の組織では得られないものを提供している。

以上の項目の実行により地域社会と深くつながりを持つことができ、より多様な会員に魅力を感じてもらえることができます。クラブのあり方について会長を中心にして柔軟性をもって考えてもらひ例会の方法や例会の形を検討してほしいとのことです。こういうマローニ RI 会長のお考えを基に伊藤靖祐ガバナーのお考えをお話します。RCの今後持続する可能性はその中にどれほどの知的多様性と革新的柔軟性を包摂できるかに依存すると説明されています。従来の RC の既成概念をとりはらって適応力を高める必要性を説いておられます。もちろんただやみくもにルール等を緩やかにしていくという意味ではなく、各々のクラブのよき伝統、培ってきた信頼に基づく改革でなければならないことは言うまでもありません。例えば現在東尾張分区のほとんどのクラブが例会を1カ月に1回は休みにしておられます。このことがクラブに良い影響を与えているのであればそれでよいのです。様々な方法をクラブで考えてく

ニコボックス委員会 委員長 梅村 守君

○本日ガバナー補佐訪問よろしくお願ひ申し上げます。 山田 直樹君(ガバナー補佐)

片平 博己君(地区副幹事)

森井 晴生君(分区幹事)

○山田ガバナー補佐を迎える喜びで

北 健司君

○ガバナー補佐、地区副幹事、分区幹事を迎える喜びで 加藤久仁明君

○山田ガバナー補佐、片平地区副幹事、森井分区幹事ようこそ春日井へ！一年前の今頃を思い出します。 成瀬 浩康君

○ガバナー補佐山田直樹君をお迎えする喜びで 清水 勲君

○ようこそ春日井にお越し下さいました 青山 博徳君

○前回の例会及び卓話急遽、入院の為、キャンセル致しました。申し訳ありませんでした。

場々大刀雄君

○林田会員に孫の内申(調査)ありがとうございました。 小川 長君

○勝川芸術祭ぜひ御参加下さい。 三上 努君

○ガバナー補佐の講話楽しみにしています。

足立 治夫君 稲垣 勝彦君 梅村 守君

大橋 省吾君 大西 信之君 大原 泰昭君

岡本 博貴君 加藤 茂君 川瀬 治通君

貴田 永克君 近藤 太門君 芝田 貴之君

社本 太郎君 宅間 秀順君 枋本 正樹君

友松 英樹君 内藤 修久君 長曾 篤志君

ださいとのこと。5の中核的価値観（親睦、高潔、多様性、奉仕、リーダーシップ）をベースに知的多様性と革新的柔軟性をとり入れること。10年から20年後を見据えて、つながりを地域に発展させ職業上のネットワークを広げ、公共イメージの向上と共にクラブの在り方をデザインする必要があると書いておられます。クラブのホームページを戦略的に見直して戦力になるようにしてください。どのクラブもこれから50歳未満の会員の入会の促進、女性会員の入会の促進が不可欠になっています。そのためには、地域社会により大きなインパクトをもたらす事業を考えていかなければなりません。地域社会の人々がロータリーの事業に参加してもらうために基盤をひろげなければなりませんし参加者の積極的な関わりを促さなければなりません。それぞれのクラブの特性にあった方法を見出して持続的継続的に改革をお願いしたいと思います。

その他の活動指針は、ポリオ根絶への貢献、ロータリー賞への挑戦、国際大会への多数の参加、WFFへの積極的な参加を挙げておられます。以上申し上げましたがこの年度の貴クラブの大いなる活躍を祈念申し上げます。微力ではありますが私も皆さんと共に活動していきたいとおもいますのでお付き合いのほどよろしく願いいたします。

## 第2回クラブ協議会（ガバナー補佐訪問）議事録

日時 2019年8月30日（金）13:30～15:00

場所 ホテルプラザ勝川 2階 さくら東

出席者 山田 直樹 ガバナー補佐、

片平 博己 地区副幹事

森井 晴生 分区幹事

理事、役員、各委員会委員長

オブザーバー出席 三上努・内藤修久・長曾篤志・

西村輝幸・林田健児・水上耕一

### 1 北会長 挨拶

例会でガバナー補佐からいろいろなお話があったが、激動の時代であるので、地に足をつけて活動をしていきたい。ガバナー補佐から当クラブの計画についてアドバイスをいただき、有意義な会合にしたい。

### 2 意見交換

(1)各委員長等からクラブ計画書に基づき計画説明、意見交換を実施。

(2)山田ガバナー補佐コメント

・クラブ奉仕会:委員長の役割は難しいが、クラブの充実に力を発揮してほしい。

・会場委員会:例会はそのクラブの「顔」。他クラブの方が来たら、春日井 RC が好きになってもらえるようおもてなしをしてほしい。

・出席委員会:出席管理システムはよい。他のクラブへの参考としたい。

・親睦委員会:何をもって親睦かは難しい。懇親会ばかりが親睦ではないので、幅広く考えてほしい。

・ニコボックス委員会:有意義な予算となるよう努めてほしい。

・プログラム委員会:他クラブではメンバーの卓話の機会が少なくなっているが、春日井 RC の卓話の取り組みは相互理解のために有意義。

会員増強委員会:目標(10名前後加入)をガバナーに報告する。社会環境は変化している。先輩後輩の関係で強引に勧誘しても辞めてしまう。特に50代以下、女性にはきちんと説明し、納得して加入してもらう必要がある。

・情報委員会:価値観の多様化した方たちに理解してもらえるよう教育に努めてほしい。

・公共イメージ向上委員会:春日井 RC の HP はこれまで訪問した中で1番良い。会報も手作りで大変だが、それだからこそ生きた会報となる。

・ロータリー財団委員会:寄付、ポリオを十分に貢献していただき感謝。米山奨学について来年以降も奨学生を春日井 RC に続けて送りたい。出産は珍しいケースではないが、体調管理には注意してほしい。危機管理について。時代が変わった。パワハラ、セクハラは相手の受け取り方次第。「手に手つないで」もたまらなく嫌だという人もいる。

・職業奉仕委員会:奥の深い委員会である。職業奉仕の意味合いはこれからロータリアンになろうという人にはインパクトあると思う。職業奉仕の事業を継続してほしい。

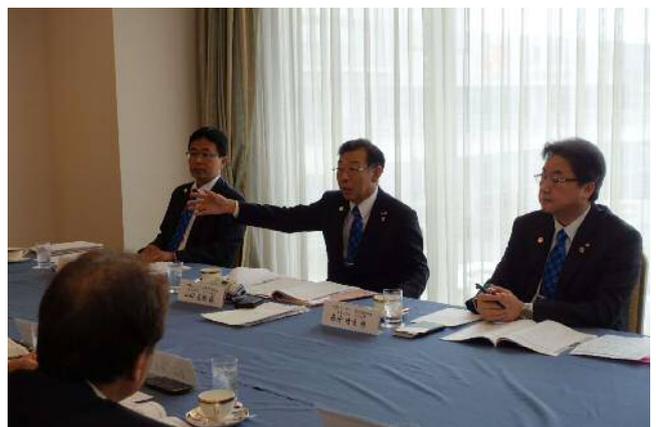
・国際奉仕委員会:30万人都市の春日井 RC の「顔」。在住外国人にも目を向けてもらいたい。国際奉仕の位置づけは世界の中では大きい。地区補助金の利用も考えてほしい。

・社会奉仕委員会:表彰から一歩進めて、協働で何かするといいかもれない。

・青少年奉仕委員会:各種支援を継続してほしい。ガールスカウト支援は春日井独自事業で特色がある。

・ビジョン懇話会:大事な委員会なので、若い人・中間層の意見が反映できるよう検討してほしい。

・今後もますます発展し、2760地区のリーダーとなって欲しい。



ガバナー補佐とクラブ役員との懇談会



会長挨拶 北 健司君



東尾張分区分区幹事 森井 晴生君



補佐講話  
東尾張分区分区ガバナー補佐 山田 直樹君



クラブ協議会 山田ガバナー補佐挨拶



R I 第 2760 地区副幹事 片平 博己君